

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号： 4875 大証 JASDAQ
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号： 03-3519-5010
E-mail： info@medicinova.com

Windhover 社、MN-166 を最も有望な神経科学プロジェクトのトップ 10 に指定

2010年10月19日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼CEO：岩城裕一) は、Windhover社 (*) が、当社が開発中の、新規のマクロファージ遊走阻止因子 (以下、MIF) 阻害剤としてのMN-166 のプログラムを「もっとも有望な神経科学プロジェクトのトップ 10」に指定したことをお知らせします。具体的には、独立委員会が、当社のMIF阻害剤としてのMN-166 を、中枢神経系領域におけるもっとも有望なプロジェクトとしてWindhoverのトップ 10 のリストに掲載しました。この選定に当たって、候補となるプロジェクトは、「医療上のニーズ」「市場規模」「適応の多様性」「科学的有望性」「複数の提携機会 (バイオテクノロジー・医薬品業界)」「当初想定された適応以外への応用の可能性」「企業の安定性」等について、厳しい基準をクリアしております。今回の選定に伴い、当社は、2010年11月3日(水)午後、マサチューセッツ州ボストンでWindhover社が開催する、「治療領域パートナーシップミーティング」に参加いたします。詳細につきましては、www.tapartnerships.comをご覧ください。

MN-166 とその類縁物質 (アナログ) は、MIF を阻害する作用及び、二次的に、ホスホジエステラーゼ (以下、PDE) -4 または PDE-10 を阻害する作用を持つと考えられ、神経疾患治療における新規の作用機序となる可能性があります。このような作用が総合的に働いて、中枢神経系における抗炎症及び神経保護作用となっていると考えられています。当社では現在 MN-166 を、多発性硬化症、慢性疼痛及び薬物依存を適応として開発中です。

【MN-166 とは】

イブジラスト (MN-166, AV411) は、当社が開発に力を入れている神経症状に対する治療薬候補です。イブジラストは、当初、喘息及び脳梗塞発作後の症状の治療薬として、日本および韓国で販売されていましたが、その後当社が新たに、中枢神経系疾患の治療薬候補としての効果を見出しました。MN-166 の作用のターゲットは、MIF 阻害及び、二次的に PDE-4、PDE-10 の阻害と考えられています。また、MN-166 は、米国治験許可申請のもとで、一日 1 回または 2 回の経口投与薬剤として製剤されており、当社の実施したフェーズ 1 及びフェーズ 2 臨床試験で、400 人を超える被験者がすでに投与を受けて

おります。これらの臨床試験実施中に、MN-166 に起因する、臨床的に重大な副作用は認められませんでした。多発性硬化症のフェーズ 2 臨床試験は良好な結果が得られた用量は準最適値で、その後当社ではその準最適値を上回る高用量での治験を行うことに成功しています。さらに、神経因性疼痛を適応とするフェーズ 1b/2a 臨床試験でも有望な傾向が認められています。当社は、米国その他の地域において、MN-166 の独占的開発・販売権を保有しております。イブジラストについて、当社の主たる臨床開発プログラムは多発性硬化症及び神経因性疼痛ですが、米国国立薬物研究所の支援（資金、治験責任医師のネットワーク）を受けて、薬物依存を適応とするプログラムも実施されています。MN-166 の開発プログラムは、経口、低分子化合物について、前臨床後期段階にある追加の適応に対して最近交付された組成特許により補強されています。

MN-166 に関する最近の論文は以下のとおりです。

1. イブジラストの MIF に対するアロステリック阻害作用（2010 年 6 月、Proceeding of National Academy of Science USA）
2. 直接的な神経作用—多発性硬化症治療における聖杯（2010 年 4 月、Neurology）
3. イブジラスト；呼吸器疾患及び神経疾患における薬理、効果及び安全性（2009 年 12 月、Expert Opinion on Pharmacology）

以上

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。現在 MN-221 とイブジラストプログラムに関してはそれぞれ米国治験許可申請のもとで現在臨床試験を行いながら、今後のさらなる開発の準備として、戦略的な提携関係を構築することを模索しております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。

《ご参考》

（*）Windhover 社とは、製薬、バイオテクノロジー、医療機器業界の上級管理職に対するビジネス情報製品、サービスの有力プロバイダーです。